

# 平成24年度水道事業会計の決算状況

私たちの日常生活において、水は欠かせないものであり、水道は生活を支えるライフラインの一つです。

市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを行っています。

今号では、平成24年度水道事業会計の決算状況をお知らせします。

## 給水の状況

給水人口	50,187人
給水戸数	22,294戸
年間給水量	4,113,517m <sup>3</sup> (1日1人当たり平均225ℓ)
平均配水量 (1日当たり)	13,168m <sup>3</sup>

水道事業は、地方公営企業法に基づき地方自治体が経営する企業として運営されています。そして、企業の経営成績、財政状況を明らかにするため、会計制度は企業会計方式を採用しているほか、事業に必要な経費は経営に伴う収入（水道料金収入）をもって充てるという独立採算制を原則に経営を行っています。

このため、事業の運営に当たっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性を発揮することが求められています。

現在はもちろん、将来に持続可能な水道とするためには、事業運営基盤の強化を図り、安全・安心な給水体制を確保する必要があります。

## 水道事業会計の概要

## 収入と支出の概要

### ◎収益的収支

収益的収支とは、水をつくりご家庭などにお届けするための費用などの収支を表したものです。

収入合計は、予算の9億755万円に対し決算は9億1千702万円で947万円の増となりました。

一方、支出合計は、予算の8億5千89万円に対し決算は7億9千217万円で5千872万円の減となりました。

この結果、収支決算は、1億2千485万円の黒字となりました。

この黒字額については、国などからの借入金今後の元金償還に備えるため減債積立金に6千485万円、配水管の更新などの施設整備に備えるため建設改良積立金に6千万円を積み立てる予定です。

### ◎資本的収支

資本的収支とは、浄水施設や配水池、配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

収入合計は、予算の1億1千820万円に対し決算は1億2千46万円で226万円の増となりました。

一方、支出合計は、予算の5億2千194万円に対し決算は5億180万円で2千14万円の減となりました。

この結果、収支決算は、3億8千134万円の不足となりました。

この不足額については、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価償却費など内部留保している損益勘定留保資金などで補いました。

## 収益的収支

項目	金額
収益的収入	9億1,702万円
営業収益	9億1,680万円
(内給水収益)	8億7,183万円
営業外収益	21万円
特別利益	1万円
収益的支出	7億9,217万円
営業費用	6億7,793万円
営業外費用	1億 550万円
特別損失	874万円
純利益	1億2,485万円

## 資本的収支

項目	金額
資本的収入	1億2,046万円
企業債	1億 600万円
負担金	1,446万円
資本的支出	5億 180万円
建設改良費	2億4,502万円
企業債償還金	2億5,678万円
不足額	3億8,134万円